

国際ロータリー第2790地区

2025-26

「八犬伝プロジェクト」

私たちのふるさと・千葉。その千葉に残る「南総里見八犬伝」の物語を通じて残る様々な文化、歴史の遺産、名作にふれ、千葉のルーツを考える、今だからこそ「道徳」を考える機会となるよう事業を展開します。

- 主な展示内容**
- 宮田雅之作「刀勢画・八犬伝」全360点の展示
 - 辻村寿三郎・清水英寿作「新八犬伝」創作人形の展示
 - 江戸期に描かれた犬の肉筆画8点の展示
 - 滝澤馬琴と交流のあった山東京伝や葛飾北斎・濃辺草山らゆかりの作品の展示
 - 参加美術館・博物館の関連所蔵品の展示
- ※各博物館・美術館で展示内容は異なります



県内6カ所の美術館・博物館で開催!



◆成田山書道美術館

「八犬伝プロジェクト
～南総里見八犬伝～
宮田雅之と清水英寿」
特別展示室

〈期間〉
6月21日(土)～8月11日(月)

「虚」の世界
刀勢画26点・人形10体(英寿人形)
お問い合わせ ☎0476-24-0774

成田市

..... 南総里見八犬伝

江戸時代の作家・曲亭(滝沢)馬琴が全106冊にわたって著した歴史長編小説。「読本」というジャンルに分類され、1814年に刊行開始、28年の歳月をかけてえ1842年に完結した。

戦国時代の安房国(現在の千葉県南部、館山市・南房総市周辺)を舞台にし、その時代の武将・里見氏を題材にした物語で、伏姫・犬の八房の因縁によって結ばれた「仁義礼智忠信孝悌」の八つの玉を持つ八犬士が里見氏のもとへ集結する、正義・勸善懲悪の伝奇小説である。

館山市立博物館所蔵

館山市・八犬伝博物館

曲亭馬琴

滝澤馬琴



八犬伝プロジェクト

第2790地区ロータリー八犬伝プロジェクト委員会では、7月26日(土)に第10グループイベントを開催する運びとなりました。

当日はグループ内のインターアクトも参加し、成田駅前にて広報を行うとともに、実際に成田山書道美術館にて作品を見学するとともに、日本ロータリー学友会幹事にて、現在は京都大学をはじめとする様々な大学で講師をしている宮坂真依子氏に「南総里見八犬伝を通して見直す日本の徳」について講義していただきます。

沢山のロータリアンに参加して頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

7月26日(土)

10:00 JR成田駅前にてパンフ配り

11:00 成田山書道美術館へ移動

11:30 展示作品見学

12:00 研修室にて宮坂氏による講義

13:00 終了予定(インターアクトはお弁当が出ます)各自解散

※成田山書道美術館は駐車場に限りがありますので駅から乗り合いで移動します。

インターアクトは徒歩にて移動となります。

当日は赤いポリオTシャツ着用にて参加願います。

ロータリアンは入館料350円がかかります。

【申し込み方法】
別紙登録用紙にて事前登録(参加人数把握のため)

当日参加もOK

【お問い合わせ先】
RID2790八犬伝プロジェクト委員会
成田地区担当
桑野博之 070-6480-4753
Mail kuwano@kanadeno-mori.com